

『地域の方々と教会との心の距離』

吉田真司

先週火曜・水曜とかけて、教会隣地の一部舗装工事が行われ、天候にも恵まれ無事に完了いたしました。おかげさまで大きく陥没していた部分も平らになり、また砂利の市道（隣地隣接道路）側への散らばりの課題も解消されました。

工事前の状況では、雨が降れば大きな水たまりが出来、その乾いた後には水に流された砂利が市道に積もってしまい、会堂管理委員会としては、道を行く人々（歩行者や自転車走行者）がその陥没部分や砂利につまずいたり転倒したりする危険を案じて、速やかな対応の必要を認識し、この度の対処となりました。

その市道は、毎朝・毎夕と実に多くの人々が往来します。駅に向かう人、駅から会社・学校に向かう人たちです。また大型スーパーに買い物に向かう人たちの通り道でもあります。自動車はかつて双方向に通行可能だったそうですが、その狭さと利用者の多さから、近隣住民の要請あって「一方通行路」となったそうです。

今回、舗装工事が終わって、その道行く人々を眺めていましたら、多くの方がその改善された状況をしみじみと見つめて通って行かれておりました。ある小学生は「あっ、これで水たまりが無くなる！」と声を出して通り過ぎました。それが「水たまりで遊べなくなるな～」とか「冬に氷が張らなくなるな～」といった「残念」のトーンであるかどうかは知る由もありませんが、おそらくは「良かった。これで通りやすくなる」という安堵の声と受け止めています。またご高齢の夫妻が通り過ぎられる際に、「おっ、綺麗になってる！」と言い、隣地側の舗装の上をゆっくり安心して歩いていかれました。そうして教会への心の距離が近づかれたことと思ひ、その様子を嬉しく眺めていました。

そのように教会は普段から地域の人々から見られています。正面の花々、裏手のぶどう棚に足を止めて嬉しそうに眺めていかれる人も多いです。それらの環境が、日頃の手入れによって美しく整えられていることをあらためて感謝いたします。

本日は教会バザーの日です。地域へのオープンな形では久しぶりの開催です（「生活支援無料バザー」は別にして）。このための祈りと準備が重ねられて本日を迎えました。地域の多くの方々にご来会いただき、教会と出会っていただけますように。——「(神は) わたしたちを通じて至るところに、キリストを知るといふ知識の香りを漂わせてくださいます。」(第二コリントの信徒への手紙2章14節)

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>